

採点規則（日本語）

◎次の文例により、規則を示す。

【文例】

日本は昔から実に環境に優しい暮らしをしていました。土や草、手作りの布や紙に囲まれていたのです。そして、それらは当然のように繰り返し使われてきました。現代は、リサイクルを声高にして叫ばれている時代ですが、日本ではもともとごく自然に行われていました。中でも和紙は、暮らしのさまざまな場面で使われており、今もその素材の素晴らしさは高く評価されています。現在、使用した紙の再生率は、世界的にも高い水準に達しています。今後はこの数字をできる限り伸ばす努力が必要だと思えます。

ニッケン印刷株式会社は、再生紙技術と研究を40年行っているJ. Palmer教授に経営指導を受けながら、上記の創業者の言葉を実現すべく、努力を重ねて参ります。

	規 則	正しい例	誤った例	ミス
1	誤字 問題と異なった文字が打たれた場合は、問題文の1文字について1ミスとする。	使用した紙の	私用した紙の	1
		暮らしの <u>さまざま</u> な	暮らしの <u>様々</u> な	4
		高く評価されて	<u>たか</u> く評価されて	1
2	全角、半角 数字・英字・カタカナ・記号は半角入力しないこと。 ※半角がある場合は全体で1ミス	40 J. Palmer ニッケン	40 J. Palmer ニッケン ※半角	1
3	段落の始め 問題文どおりとする。 段落の始めは必ず全角1文字分あけること。 ※その箇所ごとに1ミス	日本は昔から実に～ れていたのです。	日本は昔から実に～ ていたのです。	1
4	段落の終わり 問題文どおりとする。 段落の終わりは必ず改行をすること。 ※その箇所ごとに1ミス	～だと思えます。 ニッケン印刷株式～	～だと思えます。ニッケン印 刷株式～ ※段落の終わりに改行がない ※段落の1文字目があいていない	2
5	強制改行 段落の終わり以外で改行をした場合は、その箇所ごとに1ミスとする。	～ました。現代は、リ サイクルを～	～ました。 現代は、リサイクルを～	1
6	飛び字・余分字 余分なスペースを打った場合は、スペース数に関わらず1ミスとする。 問題文以外の文字を打った場合は、その文字数分をミスとする。 同じ文字を再度打った場合は、その文字数分をミスとする。	～そして、それらは	～そして、__それらは	1
		できる限り伸ばす	～そして、___それらは	1
		紙の再生率	できる限りに <u>伸</u> ばす 紙の再生の <u>再</u> 生率	1 3
7	脱字	今後はこの数字を	今後は数字を	2
8	転倒 転倒した文字は、文字数分をミスとする。	必要だと	必要 <u>と</u> だ	2
		株式会社	<u>会</u> 社株式	4
9	全文の2度打ち 問題文を打ち終えても2度打ちはしない。2度打ちした分は、総字数に加えない。			
10	長音記号と読点 長音記号「ー」とハイフン「-」の混合は許容範囲として減点はしない。 読点「、」とカンマ「,」はどちらか一方に統一してあれば許容範囲とする。 混合している場合は全体で1ミスとする。			